

# ガイドの心得や熊野の歴史学ぶ

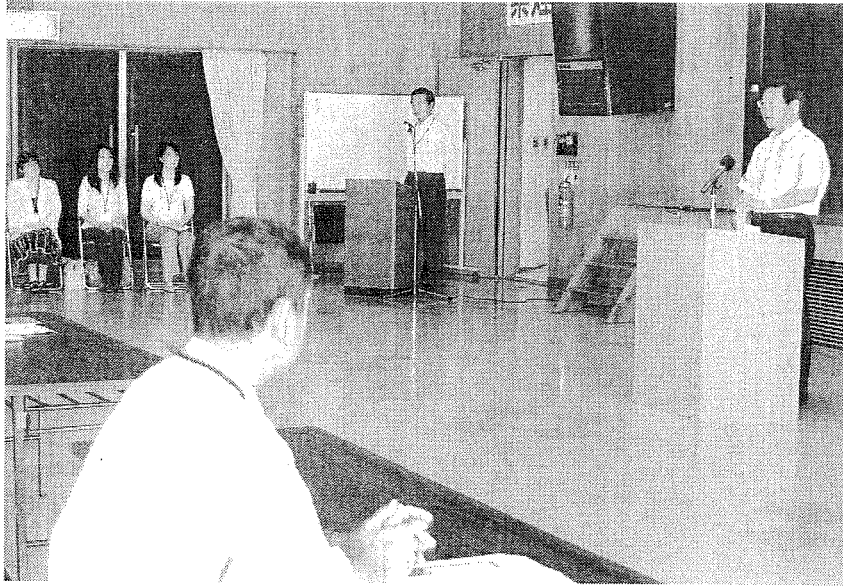
## 新宮市 英語観光ガイド育成 30人受講

新宮市は13日、新宮地域職業訓練センターで、熊野地域「英語観光ガイド育成事業」の開講式と第1回講義を行い、申込者53人の中から抽選で選

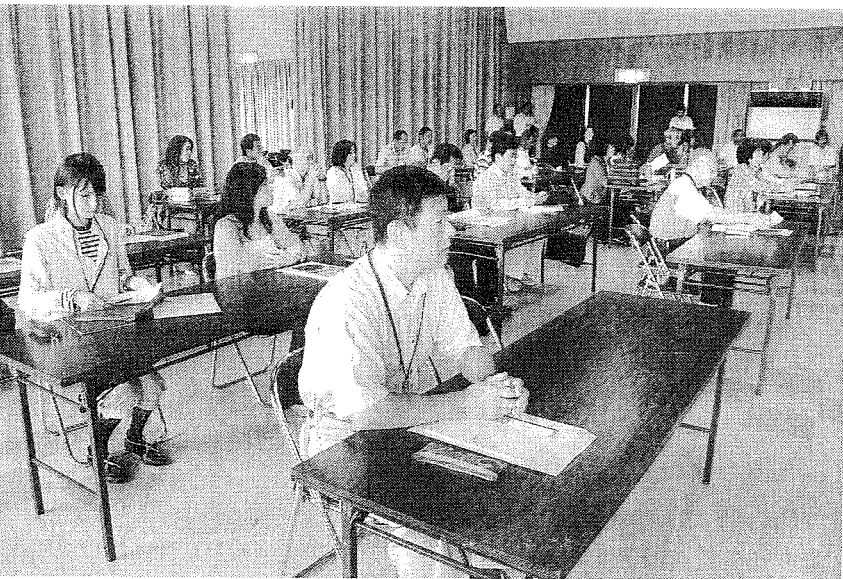
ばれた上級クラスと中級クラスの計30人がガイドの心得や熊野の歴史を受講した。

この事業は、今後増加すると見込まれる外国人観光者に対し、英語で熊野地域をガイドする人材を育てることを目的に、

来々1月23日までの全15回、上級クラス15人、中級クラス15人に分け講義と実地研修を行う。受講する30人は、新宮市や那智勝浦町、遠くは御坊市や上富田町、三重県尾鷲市在住の20〜60代の男性16人、女性14人。



開講に際しあいさつする佐藤市長



上級クラスと中級クラスの受講者

開講式で、佐藤市長「観光ガイドの能力を身につけ、さまざまなところで生かし、熊野の発展に寄与していただきたい」と激励。

事業に連携協力する明治大学の林雅彦法学部教授は「最後まであきらめないうで、受講してください」と話した。

式後、NPO法人「Mikuman」代表の楠本晴美さ

んが「ガイドの心得」、林教授が「熊野の歴史と文化」について講義した。前年度は明治大学と熊野地域の自治体が連携して、文部科学省の助成金を受け「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」を開催。120人が受講し、うち70人が8割（全20講義）受講した。今回は文科省助成がないため、新宮市が事業継続の要望に応え開いた。

H21年6月14日

紀南新聞